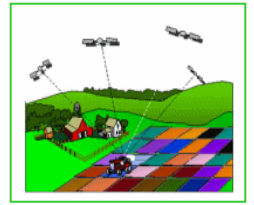


北海道情報化農業ニュース

北海道における持続的な農業の発展のための情報技術の活用促進
およびその健全な普及を図る。



● 「実演検討会」開催案内 ● ● ●

号外 2013. 10. 28

とちかち低コスト施肥技術体系確立事業推進協議会より「圃場情報に基づく可変施肥効果に関する実演検討会」の開催案内がありましたので、お知らせします。

圃場情報に基づく可変施肥効果に関する実演検討会
「均一施肥」から「土壌マップに基づく可変施肥」へシフト！
化学肥料のコスト低減・環境負荷低減

【開催趣旨】

国際的に肥料原料価格の高値傾向が続く中、農業生産に不可欠な資材である肥料については、その効率的な利用により、農業者の経営を支える必要があります。また TPP による関税撤廃は、少なからず日本農業に影響を与える事が予想されます。このような中、十勝の農業は経営規模拡大傾向にあり、今後もこの拡大傾向は続いていくと考えられます。また、拡大傾向に伴い、アメリカで 20 年程前に始まったリモートセンシング技術等を活用した精密農業が、この十勝にも浸透しつつあります。

そのような中、とちかち低コスト施肥技術体系確立事業推進協議会は、平成 24 年に帯広畜産大学、十勝農業協同組合連合会、帯広市、(株)ズコーシャ、サークル機工(株)が参画し、発足しました。また、オブサーバとして十勝農業試験場、十勝農業改良普及センターにも参画して頂いています。本協議会では慣行の施肥量と比較して 10%以上の低減を目標に空撮用無人ヘリコプタによるリモートセンシング技術を活用し、畑地の土壌肥沃度を精密に測定しました。また、測定結果に基づきてん菜、馬鈴しょ、サイレージ用とうもろこしに可変施肥を行い、それぞれの収量・品質等を測定しました。

そこで、ここでは協議会で実施した試験成果の報告と空撮用無人ヘリコプタおよび自動可変施肥機の実演を行います。併せて、十勝地域で実施されている、その他の可変施肥研究事例についても紹介します。

■日時：平成25年11月29日(金) 13:00～15:30

■開催場所：【実演会】帯広市農業技術センター
(帯広市川西町基線 61 番地)

【成果報告・事例報告】十勝農業共済組合 2F 会議室
(帯広市川西町基線 59 番地 28)

■主催：とちかち低コスト施肥技術体系確立事業推進協議会

■共催：十勝農業機械化懇話会、十勝農業機械化協議会

■参加費：無料

■対象：農業者、農業関係者、IT 事業者、支援機関等

■開催プログラム

1. 【実演会】：13:00～13:50

空撮用無人ヘリコプタ & 4 畝自動可変施肥機の実演会

2. 【成果報告・事例報告】: 14:10~15:30

会長挨拶: とかち低コスト施肥技術体系確立事業推進協議会 会長 帯広畜産大学 教授 佐藤 禎稔 氏

成果報告: 「空撮用無人ヘリコプタを活用した土壌肥沃度ベースの施肥の有効性について」
株式会社ズコーシャ 丹羽 勝久 氏

事例報告: 「N センサシステムを利用した小麦の可変追肥について」 十勝農業試験場 原 圭祐 氏

■ 問い合わせ先: とかち低コスト施肥技術体系確立事業推進協議会事務局

住所: 〒080-0048 北海道帯広市西 18 条北 1 丁目 17 番地

株式会社ズコーシャ内 電話: 0155-33-4996(担当: 横堀、米山、丹羽)

詳細は、別紙開催要領をご覧ください。

<発行>北海道高度情報化農業研究会

事務局: 舘山 則義

〒060-0005 札幌市中央区北 5 西 6-1

公益親母法人北海道農業公社

TEL: 011-241-7551 FAX: 011-271-3776

e-mail: tateya@adhokkaido.or.jp

編集委員: 丸山 健次 (酪農学園大学)

TEL&FAX: 011-388-4864